

幼児の教育

第四十八卷

第六號



六月號

日本幼稚園協會

最新な企畫の新製品
紙芝居

作者・西山敏夫
繪畫・澤井一三郎

みみちゃんとおおかみ

B4判・5色刷・十六枚・用紙二二〇所
定價二二〇圓・送料三五圓

兎のみみちゃんの勇氣と機轉によつて森の意地わるの狼が改心して、みんなと仲よしになるといふお芝居。

作者・柴野民三
繪畫・藤澤龍夫

どの子がいゝ子

B4判・5色刷・十六枚・用紙二二〇所
定價二二〇圓・送料三五圓

熊のおじさんが貯めたおいしい蜂蜜はだれが貰つたでせう。色々な動物のお話が出てくるおもしろいお芝居。

新作指人形(ギニョール)

グリム
童話

赤ズキン

西洋童話
シリーズ

赤ズキンさん、お母さん、お婆さん、獵師、狼、の五體一組(脚本、指人形の作り方と演り方パンフレット付)文展工藝の人形作家・山本壽先生指導製作の良心的工藝指人形。

美麗木箱入・定價五〇〇圓・送料五〇圓

好評童話と繪本

作 小川未明
裝幀挿畫・立野玲子

おうまのゆめ

B6判・一二〇頁・美裝・定價八〇圓・送料二〇圓

作 奈街三郎
裝幀挿畫・山崎達夫

つきよのうみ

B6判・一二〇頁・美裝・定價八〇圓・送料二〇圓

いづれも幼児の生活をそのままあつかつた小川・奈街兩先生の情味あふるゝ大作です。お母様方がすゝんでお子様方にあたえられる童話、そしてキットお子様方によるこぼれる童話です。

企畫文・南江治郎 繪・澤井一三郎

こがねのりんご

B5判・6色刷・二〇頁・定價四五圓・送料六圓

二十の扉と話の泉を詩と繪畫によつてお子様に理解して頂かうとつくつた推理繪本。

文・佐藤義美 繪・中村幸子

ごしきのたま

B5判・6色刷・二〇頁・定價四〇圓・送料六圓

幼稚園お話集でおなじみの「五色の玉」の話を繪本にした外國の繪本にも負けない豪華繪本です。

發行所

東京都千代田區神田
神保町二丁目四番地

株式會社

フレーベル館

振替口座東京
一九六四〇番

目 次

製作の教育的價值……………副 島 ハ マ……………(2)

幼児の文字に對する關心……………村 上 米 子……………(6)

幼児の性格に及ばず諸條件に關する一調査……………和 田 典 子……………(10)

三歳兒の保育小感……………土 屋 眞 砂 子……………(20)

講 話

幼児の心理的發達(四)……………山 下 俊 郎……………(24)

記 録

第一回九州保育大會記録

第二回關東保育協議大會

會 場……………(32)



製作の教育的價值

厚生津兒童局 副 島 ハ マ

ま え が さ

幼兒が成長して、今まで家族や、狭い範圍の友達とばかり遊んでいた世界から、急に幼稚園・保育所と云う社會に仲間入りし、社會人として生活を初めるのでありますが、この躍進的轉換期には、外界の認識も益々廣く、且つ深くなるのであります。そしてこの時期の、清純な心に映る外界の姿によつて、生涯この人にとつて外界は貴くも賤しくも見え、又事物の眞の關係が正しく理解もされ、誤つて理解もされるのであります。この時期は物の正確な觀察と、事物の性質、相互の關係、ひいては現象とその意味との明瞭な識別を學ぶ爲の最も適當な時期であります。

又この時期には意思の力も強められ、自發的活動もその度を増します。これが傷けられることなく、若木の様にすくすくと伸ばされるならば、やがて個性を持ち、創意に富み、潑刺とした自發活動をなし得る人となつて、社會にも貢獻出來ますが、萌え出たばかりの若芽が、摘まれるように、この時

期に意思の力が殺がれることになれば、長じて後も、唯受動的に消極的に、命ぜられるまゝの行動をなす様な、社會を益することのない人間になり、或は社會に害悪を及ぼす様な人間にさえなります。

情操の面についても、或は又、身體的な面に於いても人生の最初の飛躍的な成長の時期が主要な意義を有することは、今更申し上げる必要もないことと存じます。

製作の教育的價值

製作と云うのは、幼兒が一つの目的をもつて、物を作ることであります。この重要な時期に於ける製作は又、非常に重要な意義をもつてあります。

(一) 智能方面

1、正しい知識を與えること

この時期には正しい知識を得ることが大切であると云うことは、前に申しましたが、目で見、耳で聞いたばかりでは、

知識をほんとうに自分のものとすることは出来ません。物に觸れ、試してみると同時に又、これらを再現することによって、観察から得た知識は深められ、ほんとうに自分のものとなります。繪や製作ではこのことが、楽しい自由な活動のうちに通じられます。

2、數學的、幾何學的觀念

又折り紙や、組み材、織紙、模様細工などでは、正しい知識を修得する基礎となる數學的、幾何學的觀念を自然に養うことが出来ます。

3、物の順序を教えること

折り紙を折る時も、初めから鶴や、帽子が出来るのでなく、順序よく丹念に折つて、初めて出来上ります。

學問にしても、社會の仕事にしても凡てそうであります。製作に際しては、先づ目的を立てること、又作る時には、部分的から総合的に、平面から立體に、事を運ぶと云うように、物の順序があることを教え、又順序よく仕事をすることを教えることは、製作により、初めて教えられる大切な事であります。

4、思考力、推理力、判斷力、理解力、選擇力を養うこと

大人の手藝などは、出来上る迄の過程は全然問題でなく、出来上つた品を評價するのでありますが、製作は、出来上りの成績より、この過程に、教育的價值があるのであります。幼児は製作をするために、案を練り、材料を選び、又これを作りながら、製作品と材料について、考えたり、推理した

り、判斷したりするわけです。そしてそれが、又製作によつて與えられる貴い知識であります。

ですから、製作の與え方には、細心の注意を拂い、指導者が自分の知識と方法を兒童に教え込むと云うようなことは、決してしないようにしなければなりません。

(二) 感情方面

美的情操を養うこと

優秀な才能をもつていても美を知らず、又、美への憧憬をもたない人は不幸であります。美に對する憧憬は、神の攝理に對する思慕に通じ、自然の生命に觸れようとする要求でありますから、美に憧れる人の生活は深く、又豊かであり、人格も圓滿であります。

製作では再現の對象が、美しいものであるか、或は、對象の美しさを再現しようとするものであります。美しくいものを再現しようとするれば、この美しいものと一體になります。云換れば、製作は、幼兒の藝術的な活動でありますから、美的情操は自然に培われ、豊かな情操が養われるのです。

(三) 意志方面

1、自發性、創造性を養うこと

遊びは幼兒の生命を創造的活動として自由に、外にあらわしたもので、時間的にも幼兒の生活の大部分を占めるものですが、幼兒が物を使つて、それについて一つの結果を豫想し

て遊ぶのが製作であります。ですから、製作も、幼児の溢れるような、豊かな生命力の發露であり、自發的、創造的活動の一つの形式であります。従つて、製作は外から強制的に、幼児に課せられるものであつてはなりません。又その過程において、外から束縛を受け、或は援助を與えられるものであつてもならないのであります。自由に、創造的意志の赴くまゝに、製作に没頭することによつて、自發性、積極性は充分に養われ、積極的な、創意に富んだ人材となる素地がつくれるのであります。

2、作業を楽しむ習慣を養ふこと

人間の社會で一番幸福な人は、自分の爲すべきことを楽しんで行ふ人であります。そして、これは幼児の頃の生活、習慣による所が多いと思われれます。

製作は、一つの目的の爲に、手段を選び、過程を経てなされねばならない點で、作業と共通したものを持ちますから、遊びとしての製作を導いて作業的とし、作業の中に自由と快樂を感じさせ、製作作業を楽しむことによつて、全般の作業を苦にしない、否進んで作業をしたいと云う氣持を養ふことも出來ます。

3、専心すること、努力すること、忍耐すること

物事を楽しんでする人は又、物事に専念出來る人です。物事を眞剣にすることが出來なければ、仲々成功することが出來ません。楽しんでゐる製作でも、自分の技術が下手なためや、材料が適當でなかつたり、周囲の妨げのために、困難な

ことにおつゝ、かかることがあります。然し失望しないで、忍耐強く製作を続けることは、又確固たる意志の人となるために必要なことです。

4、自信、向上心を高めること

難しい細工が出來た時、自分の頭の中で考えていたものが一つの形となつた時、兒童の内部の生命が外界と結びついた時、兒童は大きい喜びと自信に満されます。製作は手近に兒童に、自信、向上心を與えるよい教材であります。

殊に算數や國語の方面で、全然才能のない子で、手先の器用な兒童は、クラスで認められず、精神的に萎縮され勝てずが、製作や繪畫などによつて、自信をつけてやり、向上心を高めることも必要なのであります。

5、協同精神を養ふこと

兒童の製作を見ていますと、最初は先生や、友達同志の模倣が多く、幾分でも創作的な製作が出來るようになりなすと、お互に競争を致します。この競争心は、親切や、同情心を失ひ、利己主義になる恐れがありますから、少しでも競争する傾向が見られたら、共同で製作を行わせ、一つの大きな目的に向つて協力製作させるように致します。勿論何時も共同製作だけをするのでなく、個人的製作の中に、時々入れられるとよいと思ひます。共同製作は、各自が幼児に應じた努力を行い、優秀な兒童も自己ばかり目立たせるようなことが出來ず、自分の長所を以つて他人の短所を補ひ、仲の悪い子、孤立する癖の子供も良くなり、性格の差異が除かれる點

でも大切なものであります。

(四) 身體的方面

1、手の運動の練習

製作は、一つの目的を達するための知的に統制された身體的活動と云うことが出来ます。そして四肢の意識的な運動の練習に適しているのであります。

又、製作は主として手を使うものであります。そのため、指先の細かい正確な筋肉運動や、又綿密な正確な運動神経の働きの練習になります。

2、感覺練習

製作をするためには、先づ視覺で物を見たり、又人から聴くたり、又觸覺で觸れたりして、對象を観察致します。又製作をする場合は、自分の作ろうとしているものを、斷えず見、又手先でこれに觸れて、これを作るわけです。こうして製作は、常に感覺練習を行つてゐることになります。そして、製作をすることにより、感覺は、又發達するものです。

3、一定の目的を達するための秩序的運動の練習

製作をするためには、これに適した手段を、順序よくしなければなりません。これは身體的に見れば、一つの秩序的な運動の練習になります。殊に幼児期から、學童前期に於いては、一つ一つの運動が、知的に統制されますが、一つの目的を達成するための連絡した秩序的な運動をすることが出来るようになります。かういう時期に、製作によつて秩序的な運

動の練習をすることは、幼児の身體發達の上からも、極めて効果のあること、云えましよう。

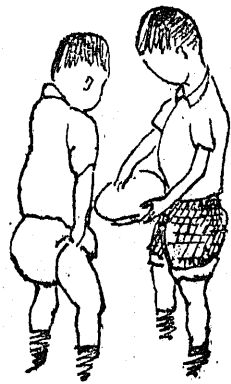
指導上の注意

以上長々と、兒童の教育的價值について申し述べましたが、これは何れも大切なものでありますし、又、決して別々なものではありません。殊に幼児に於いては、智能、感情、意志などの、教育的價值を確然と分類することは、難しい事柄であります。要は、かくも教育的價值のある製作を、深い考えもなく、無分別に兒童に與えることなく、成るべく教育的價值を高からしめるような材料と機會をねらつて、成るべく多くのものを教育的な與え方をして與えて頂きたいことでもあります。製作の種類は、紙面の都合で略しますが、その材料は、新聞紙や古い包装紙を使い、畫用紙の代りに古葉書を使い、マッチ、煙草などの空箱を利用するなどの工夫を致しますと、却つて雅味のある面白いものが出來上りますし、又私達の周圍にある路傍の草花や、街路樹など、製作の材料は無限にあると云うことに心懸けて頂きたいことです。幼児達に製作の材料を工夫させることも、教育的價值を高めることにもなるのであります。この製作の種類はそれ／＼、その教育的價值を異にしていますから、折り紙だけさせて製作教育が出來ているとお思ひになつたら、大間違です。幼児時代には、特に製作の色々な種類を淺くしても、廣く興味をもつようお導き下さることが望ましいのであります。

幼児の文字に對する關心

文部省調査局
村上米子

米子



一

就學前幼兒の教育に關しては、各方面から種々の研究が爲され、次第にその成果も擧げられて來ているが、幼兒の「文字」に對する關心と云うことも既に之を探り上げて十分に研究し、適切なる方策を考え出さねばならなくなつて來ているのではなからうか。もとより就學前幼兒の相當數が文字に關心を持つてゐるからといつて、又幼兒の能力から見てこの年令期に文字を學ばせる事が可能であるからと云つて、それだけの意味から文字を學ばせるべきか否かという事を論ずる事は出來ない。この事は直に幼稚園義務制、學齡問題等に關係して來るからである。然しとにかく幼兒の文字に對する關心がどの程度であり、現在の諸事情の下で如何なることが見られるかという事については、出來るだけはずきりと知つておきたいものである。昭和二十一年四月の新入學兒童の文字知識に關する若干府縣についての文部省調査局の調査によれば

ば、文字知識を全く缺く者は大都市において一六%、中小都市では三〇%、僻陬な村落では四八%という結果であつた。之は終戦直後の調査であり、經濟、文化その他の復興を見つゝある現在に於ては、この比率は一層ひくめられていと思われが、こゝに報告しようとする調査は、右の例を見ても新入學兒童の八四%乃至五二%が文字の知識を持つていたのであるから、更に之が就學前六ヶ月頃にはどの程度であるかを見ようとするものである。即ち翌年四月入學豫定の幼兒の十月現在の文字知識の状況である。しかしこの調査は主として一つの幼稚園の幼兒についてなされ、その人員もわづか七四人（男女共夫々三七人）という少數であることから、これで凡てを推す事の出來るものではないという事は當然で、幼稚園における一つの事實として生活環境等をも併せ紹介しつつ一應その結果を述べてみようと思う。今後幼兒の文字知識に關して一層適確なる調査研究が進められることを希むものであるが、もしこの小さな調査報告が幼兒教育者に對して幾

分でも参考になれば幸と申う次第である。

二一

本調査は昨昭和二十三年十月一日現在行つたもので、所定の調査表を園児の家庭に配布し、一週間以内に保護者の記入を求め、その回答によつて之をまとめた。調査の對象としたのは港區某公立幼稚園と豊島區某私立幼稚園とであつたが、前者とは連絡上の不手際のため必要の回答が得られず、こゝでは主として後者について述べる。調査の對象となつた豊島區私立某幼稚園児は昭和二十四年四月小學校入學の豫定の幼兒で前述の如く七四人、この私立幼稚園は師範附屬小學校等特殊學校を希望する家庭の幼兒が比較的多く、その家庭の職業をみるに會社事務（會社員會社社長等）が四一・九%で約半數、之に次いで公務、教育に従事するもの二一・七%、工業一二・一%、商業一〇・八%、自由業八・一%、無職等二・七%の順で、會社事務及び公務、教育を加えると約六三%で之を一應所謂知識層に屬するものと考えれば約半數以上が之に屬しているわけで幼兒の知識的環境はやゝ高いレベルにあると考えられるであろう。家庭内の家族構成についてみると、両親及び兄弟姉妹を有するもの及び両親と弟妹をもつものが夫々約三〇%で兩者で約半數以上を占めその他は両親及び兄弟をもつものが一八・九%、両親のみの一四・九%、母のみ乃至母と弟妹をもつものが五・四%となつてゐる。最後の二者即ち父を缺くものはわづかに五・四%でその他の大

部分即ち約九五%は両親の揃つてゐるものであり、幼兒の家族的環境も可成良好であるという事が云えるであろう。

次に幼兒の文字關心乃至知識に對して書籍、新聞等が直接の刺戟となり影響を持つと考へることが許されると思うが、之についてみると家庭でとつてゐる新聞は一家庭平均二・四種、雜誌は毎月とつてゐる家庭が七三%でその平均冊數は三冊である。雜誌を毎月とらぬ家庭には全然とらぬ者約一六%と不定に求めるものゝ二通りがみられた。毎月とつてゐるとする七三%の家庭の雜誌の内容は婦人雜誌が多く約半數を占め、次いで綜合雜誌、青少年兒童雜誌が夫々一二・三%、趣味娛樂雜誌、學術専門雜誌が夫々約一〇%等となつてゐる。單行本はほとんどすべてが求めてゐるが一年で一家庭平均三七冊強で一月にすると三冊強となる。單行本について港區某幼稚園の結果は一年一家庭平均一六冊であつたからこれに比すと約倍以上といふ事になる。

次に幼兒の繪本及び雜誌はすべて之を所有するもの又はとつてゐる者で、繪本では一人の所有數は最高一三〇冊から最低三冊迄でその平均は一人二八・二冊（男子平均三〇・八冊、女子平均二五・六冊）雜誌はこの幼稚園においては「キンダブック」を推薦してゐるとのことと、全幼兒が之を毎月とつてゐた。その他には不定にあたへるもの（但し雜誌なるや否や不明）他の雜誌もあたへてゐるもの等でその數からみると全員の約半數四一・九%は一種と他に不定に何かあたへるもの、次いで一種のみのもの三三・七%で更に二種から四

種迄のものが之につき四種は約三%であつた。以上からみて家庭としても相當に書物等を購入しているし、幼児の本としても全幼児が一種は毎月雑誌をとつてゐるから、これらの幼児の文字知識にも可成り大きな關聯性のあることが考えられるのではなからうか。

對象となつた幼児の年令は調査の現在で最少が五歳六月、最長は六歳七月で六歳前後が最も多く約六〇%であつた。

三

以上が調査對象幼兒に關する諸條件の概略であるが、こゝで本題に入つて行こう。

第一表

片假名	四十八・二十字・十九字姓名のみ又なし得合計	
	百分比	字全部以上以下はその程度ぬ者
平均字數	八・二	九・四
百分比 (三・七 / 四・九)	二・二	三・一
平均字數	三	六
百分比 (三・七 / 四・九)	三・一	三・一
平均字數	三	六
百分比 (三・七 / 四・九)	三・一	三・一

備考 括弧内は片假名、平假名兩者に通じる數である。

先づ讀む事についてみると第一表にみられる通りで、片假名は少しも讀めぬ者が三三・八%で約三分の一、可能のものは姓名程度の者が同じく三三・八%、次いで四十八字全部讀むものが一四・九%、十九字以下が九・四%、二十字以上が

八・一%であつて、總員の一人平均可能字數は一三字となつてゐる。之に比し平假名は全然讀めぬ者はわづかに九・四%で讀む者は約九〇%を占めてゐる。可能の者の内譯は、姓名程度讀む者が三一・一%、四十八字全部を讀む者及び十九字以下を讀む者が夫々二一・七%、二十字以上が一六・一%で一人平均可能字數は一九字となつてゐる。以上即ち片假名に比して平假名がよく出来る事は、この幼稚園においては自己の姓名程度は平假名で讀み得る様にと望まれてゐるとの事であるのでその故と、小學校においては平假名を主としてゐる事から家庭その他周囲が平假名を先づ考へてゐる故とかう理解されるであらうが、人員からは片假名と平假名は相當に差が見られても、字數からはそれほどの差は見られぬし(片假名一三字平假名一九字)又片假名をすべて讀む者となつてゐる事が注目される。即ち文字が認識されるとその習得は早し、又片假名の習得の方が幼兒にとつて可成容易であるとい

第二表 男女別(百分比表)

片假名	四十八・二十字・十九字姓名のみ又なし得合計	
	百分比	字全部以上以下はその程度ぬ者
平均字數	八・二	九・四
百分比 (三・七 / 四・九)	二・二	三・一
平均字數	三	六
百分比 (三・七 / 四・九)	三・一	三・一
平均字數	三	六
百分比 (三・七 / 四・九)	三・一	三・一

備考 括弧内は片假名平假名兩者に通じる數である。

えるのではなからうか。

(第二表参照)

次に讀む事について男女別に之を見る。
 第二表により男女に少しく差のある事が知られる。即ち片假名、平假名共に全然讀めぬ者に男子が多くなつてゐる。之を可能なる者について見ると、四十八字全部を讀む者では片假名平假名共に男子が多く、又平假名で姓名のみ又はその程度の者にも男子が多くなつてゐるが、その他は人員はすべて女子に多い。しかし之を字數からみると一人平均字數は片假名では同數であるが、平假名は男子に二字多く、程度からは女子より男子がやゝすぐれてゐる事が知られる。

四

書く事は第三表の通りである。

第三表

片假名	四十八二十字十九字姓名のみ又なし得合		計	
	字全部以上	以下はその程度ぬ者		
百分比	八・二	九・五	一〇〇	
平均字數	八	三	六	
平假名	百分比	一〇・九	三・二	一〇〇
	平均字數	三・二	三	
	平均字數	三	三	

第三表によると片假名ではなし得ぬ者が四八・六%で約半數、次いで姓名のみ又はその程度のものが二五・七%、十九字以下を書く者が九・五%、二十字以上及び四十八字全部を

書く者が夫々八・一%である。平假名をみると之は讀む事と同様片假名より出来る者が多く、少しも書けぬ者は一七・六%で約八〇%が書く事の可能なる者であつた。その程度をみると十九字以下を書く者と姓名程度を書く者が夫々約三〇%二十字以上が一・二%、四十八字全部を書く者は一〇・八%である。片假名平假名兩方を書く者は八%あつて、片假名をすべて書く者は平假名もすべて書いてゐる。又全然書けぬ者も八%で讀む事に比し約三%多くなつてゐる。

書く事を男女別に比較すると第四表にみる如くで、少しも書き得ぬ者は男子に多い事が知られるが、總員の一人平均字數は同字數となつてゐる事から、その程度からは男子にやゝすぐれてゐる事が知られる。讀む事についてもこの事がみられ、この幼稚園児における男女の差として注目されるのである。

第四表 男女別百分比表

片假名	四十八二十字十九字姓名のみ又なし得合		計	
	字全部以上	以下はその程度ぬ者		
男子	一〇・八	五・四	一〇〇	
女子	五・四	一〇・八	一〇〇	
平假名	男子	一三・五	二・八	一〇〇
	女子	一〇・八	三・二	
	男子	一〇・八	二・八	
	女子	一三・五	二・八	

以上を讀み書きとしてみるに、第五表にみる通り平假名が片假名に比して多い事が知られる。書く者は讀み得る者と考

第五表

	讀む者	書く者
片假名	六六・二%	五一・四%
平假名	九〇・六%	八二・四%

えられるから片假名では読み書きする者が五一・四%、平假名は八二・四%で約三〇%平假名に多くなつてゐる。前述の第三表になれば読み書きを完全にすることは平假名片假名共に八%、平假名のみでは一〇・八%で、全然読み書きをせぬ者、即ち文字の知識を全く缺く者は五・四%のわづかであつたのである。之を前述の昭和二十一年度における新入學兒童の文字知識を缺く者は一六%であつたから、この幼稚園兒には相當に文字知識の進んでゐる事が知られる。

次に家族によつて、例えば兄妹のある場合文字に對する關心が高められることも一應豫想される事であるが、之について、こゝにおいては家族による読み書き可能に對する影響は全く見られなかつた。かえつて兄弟のある幼兒群に読み書きを全くなし得ぬ者が入つており、可能の平均字數も可能者總員の平均よりやゝ低くなつてゐた。唯男子については書き得る平均字數が總平均より可成り高くなつてゐた。

五

次にこゝに参考のため港區内の一幼稚園の幼兒の読み書きの程度について大略をこゝに擧げる。

第六表

	男子	女子	計	百分比
イ、全く読み書き出来ぬ者	六	六	一二	二七・九
ロ、姓名のみ読み乃至書く程度の者	二〇	二四	三四	三三・八
ハ、二十字以読み書き上する者	二	六	八	二二・〇
ニ、ロとハの中間の者	一〇	三	一三	三三・三
合 計	元	元	七・〇〇	

第六表にみる通りで幼稚園兒としても前幼稚園兒と可成り差のある事が知られる。「全く読み書き出来ぬ者」でも前園の幼兒の五・四%に比し約三倍の一七・九%で「二十字以上読み書きする者」の中では四十八字を完全に読み書きする者は片假名のみで一人(約一・五%)あるのみであつた。又平假名片假名の差は殆んど見られず姓名にやゝ平假名が多くなし得るといふ程度であつた。

この園の幼兒の家庭についてその職業をみると、商業が一位で四一・八%、次いで工業二五・四%、會社事務一八%、その他約一五%に公務教育、自由業、無職等があつた。この中商業には小規模營業、工業には家具製作業が多があつた。

幼兒が文字に關心をもち、教える事を求める事についてみたところ、先づ教える事を求めている者は總員の八五%であつた。そして教える事を求める相手は母を含む者がその中の八四%で、その他の中には女兒に祖母に求める者、男兒にだ

れにでもというものが夫々三・二%のごくわずかであるが、
つた。教える事を求めた年令は満四歳を最少とし六歳五月を
最長としているが五歳臺が六八%を占め、その中間數は五歳
四・一月となつてゐる。男女の差はみられない。

次に家庭において幼児に文字を教へてゐるか、であるが、
總員の約八四%は家庭で文字を教へてゐた。この教へた時を
みると、教へる事を求めた時すぐ教へはじめたものが四五%、
求めたがその後になつて教へたもの三・一%、求める以前に教
へてゐるもの七%で、「教へる」という事の解釋も多々ある
とは考へられるが、一應家庭からの回答のまゝでは以上の様
であつた。尙「教へる」ことを求める「教へる」「若干以上讀
める者」「若干以上書ける者」の比率をみると八五・一%、八
三・八%、九四・六%、九一・九%である。右に於て「教へ
る」の中には求める以前に教へるもの六・八%も含まれてい
るから「教へる」ことを求めているのに教へていないものが
若干存在する事を知る。又「教へる」乃至「教へる」事を求め
る」が八〇%臺であるのに「若干以上讀み又は書く者」が共
に九〇%臺であることから、何人かは家庭の保護者の視界外
で教へる事を求め又教へる事實のあることを想像させる。

一教へた年令は最少が四歳二月で最長は六歳五月で男子は女
子に比してやゝ遅く教へたことがみられた。その中間數は五
歳六・四五月で之を、教へる事を求めた年令の中間數と比較
するとほど二ヶ月遅くなつてゐる。

六

次に教へる人についてみるとそのうちの半數以上六四
五%は父母と兄弟乃至その他で次いで母が二九%、その他の
六・四%は父兄弟祖母等で六・四%以外の者即ち大部分の九
三・六%は教へる人に母が入つてゐる事は注目される。

幼児の文字に對する關心の程度は、環境等によつてその差
を生じると考へられるが、この事についてこの幼稚園児に之
を片假名平假名共に四十八字全部を讀み書きする者と、全然
なし得ぬ者の比較によつてみれば第七表の通りであつた。

第七表によると兩者に一二の差をみる事が出来る。例えば
家庭において「幼児に文字を教へる人」は讀み書きを完全に
する者にはすべて父が含まれ、全然なし得ぬ者には父が含ま
れていない事である。父が教へるといふ事は母の場合に比し
て相當教へるといふ意識のもとに教へてゐる事が想像される
のではあるまいか。次に幼児の繪本・雜誌、家ごとつてゐる
新聞・雜誌についてみれば、すべて全部を讀み書きする者に
多くなつてゐり、これらが文字についても幼児に影響をあた
へてゐるといふ事は斷言出来ると思われるのである。

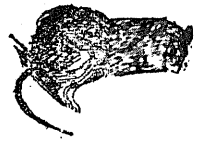
要するに家庭の文字に對する積極的態度と環境とが相俟つ
て兩者の差を生む因子の一つとなつてゐることは認めるべき
であらう。

以上が調査結果の概略であるが、こゝで對象とされてゐる
幼児の特殊性からいつて之を以て一般を推すことは出来な

全然なし得ぬ者				平假名・片假名共に四十八字 全部読み書きをなす者					
平均	女子	男	子	平均	女子	男	子	年齢	教える事 を求めた 年齢
	六歳二月	六歳一月	五歳二月		六歳四月	六歳一月	六歳三月	五歳九月	教えた年 年齢
	五歳七月		五歳六月		五歳五月	五歳六月	五歳四月	五歳五月	家族
	六歳六月		五歳一〇月		六歳八月	六歳六月	六歳三月	六歳五月	家で教 える人
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	家で つも相 手にな る人
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	幼児の 繪本の 冊数平均
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	幼児の 雑誌の 冊数平均
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	大人の 讀む 本(一年) 冊数平均
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	家でと る新刊 の冊数平均
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	家でと る雑誌 の冊数平均
	六歳七月				六歳八月	六歳六月	六歳五月	六歳五月	職 業

る。然しともかくも新入學以前約半ヶ年前に於て幼稚園児の
五〇%以上が文字について若干以上の知識を持つてゐる事實
のあることは問題として採上げられるべきであらう。そして
かような調査が更に廣い範圍にわたつて行われることを切に
希むものである。

御知らせ
本誌二、三月合併號(日本保育學會第一回大會特輯號)を御希望
の方はフレール館には殘品ありませんから、東京都港區盛岡町
一ノ五愛育研究所に多少殘品ありますから同所宛御申込下さい
(一部四五圓、送料三圓)



幼児の性格に及ぼす諸條件に關する一調査

和田典子

一

幼児期の性格は將來の方向を決定すべき原型として教育上重視されているが、性格形成の最初の時期である幼児期の生活の場としての家庭環境の在り方は、直接間接に性格形成要因としてこどもに働きかけその方向に深い影響を與えるものと思われる。環境の中で自由に経験せしめ、環境を介して幼児の教育が行わるべき事は改めて述べるまでもない、そのためには環境、即ち家庭生活の教育的形成が先づ考えられねばならない。この問題について考察するためにこどもの性格と其に及ぼす諸條件についてさゝやかな調査を行つてみたのでその結果を御報告したいと思ふ。

(一) 調査の方法

- a、調査對象は附屬幼稚園児一九六名とその家庭である。
- b、實施期日は昭和二十三年十一月—十二月。
- c、先づ園児の性格評定を行つたが、これには淡路氏の幼

児性行評定尺度を用いた。

d、尺度に現れた園児の性格をA、B、C、D、Eの五つの類型に分類した。

e、次に園児の家庭環境を質問紙によつて調査したが之は家庭状況、身體状況、教養状況等合計二十八項目について行つたものである。

f、環境調査の回答結果を性格類型別に集計し之等の比較検討によつて問題を考察、結論を得ることに努めた。

(二) 調査の概要

當幼稚園児の性行傾向には次の如き特徴がみられた。即ち

- 一、元氣である。
 - 一、自分の考で行動する。
 - 一、自分の事は自分でする。
 - 一、それまゝ。
- 等の諸項目にあつては比較的高い評定點を示したが、一、よく注意する。

一、根氣がよす。

一、工夫をこらす。

等の項目の評點は高くなかつた。

又男兒と女兒の性行傾向を比較すると、

一、元氣である。

一、そねまなす。

の二項目では男兒の方が著しく高く、

一、氣輕である。

一、物事を知りたがる。

一、工夫をこらす。

一、素直である。

一、協力する。

等もやゝすぐれている。しかし

一、よく注意する。

一、根氣がよす。

一、落着きがある。

一、自分の考で行動する。

一、秩序を守る。

一、睡み含う。

一、人の面倒をみる。

等の諸項目では女兒の方がすぐれている。又年少兒と年長

兒との間にも若干の性行差が見られたが其については省略し

て、次に性格類型について述べたいと思う。

11

幼兒性行評定尺度に現れた性格を評定點、その他によつて A、B、C、D、E の五つのタイプに分類する事については既に述べたが、それら五つの性格類型を具體的に捉えるために各群の性格プロフィールを作り比較してみた。その結果甚だ興味深い圖表が得られたが紙面の都合で割愛を餘儀なくされたのでこゝではその特性を要記するに止める。

A型。他のどのタイプよりも評點が高く、積極的、攻究的、明朗、瀟灑、協調、忍耐等の美點をそなえ、どの項目も圓滿な發達をみせている。

B型。A型と殆んど同じ傾向を示すが全體的に低調で消極的である。創造性、集注性、に於てやゝ不満である。平凡型ともいふべきか。

C型。知的に優れている。殊に意志的である點に特色があつて自立性の評點は最高であるが、社會性に乏しく情緒的性質はやゝ内向的。氣むつかしいという共通點を持つ、又物を大切にす。

D型。最も低調、殊に忍耐性、創造性に缺け他と協調しようとしなす。自立性に乏しく元氣がなす。ふざけたりしなす。

E型。元氣旺盛であるが情緒不安定。注意散漫、行動に一貫性、恒常性がなく生活は散文的で社會生活に適應しにくす。

これらA、B、C、D、E型は又理想型、平凡型、意志型、消極型、不定型とでも名付るべきであらうか。

智能指數との關係を年長兒について述べた結果によると、A一二八、B一二二、C一二四、D一〇七、E一〇九、で兩者に不可分の關係が想像されるが年少兒のI・Qは調査未了で明確な結論を得るに至らなかつた。

次表は各性格類型群の員數分布を示したものであるが、最も員數の多いのはB型で、年令、性別を問わず最高を示している。AとCは少い。しかし年長兒ではA型が二二・五%を占め、B型の次に多くなつてゐる。又全員中にはE型が意外に多い事が到るのである。女兒にあつてはその約半數に近いものがB型に屬し生得的なものと思わせる。

性格類型構成員數表

計	E	D	C	B	A	總 員				
						男	兒	女	兒	年長兒
100	22.3	18.1	12.2	35.6	13.6%	15.0	11.4	22.5	4.8	
100	23.0	19.0	13.0	30.0	11.4	22.5	4.1	31.4	39.8	
100	17.8	17.8	11.4	41.6	11.4	22.5	13.9	10.6		
100	19.3	12.9	13.9	31.4	11.4	22.5	10.6			
100	21.3	23.3	10.6	39.8	11.4	22.5	10.6			

二

次は性格類型と家庭環境との關係について考察するために類型群別に家庭環境諸項目の状態を調べたのであるが問題を簡明ならしめるために項目數を適宜整理した。その結果について各項目毎の表を示しつゝ考察してみたいと思う。

(一) 家庭の職業

業 種 別	總員 %	類 型 別 %				
		A	B	C	D	E
		專 門 的 職 業	給 料 生 活 者	中、小 商 工 業	及 自 由 業	無 職
專 門 的 職 業	20.9	33.0	19.6	16.1	14.5	22.8
給 料 生 活 者	55.3	75.3	50.8	63.7	44.4	55.3
中、小 商 工 業	24.3	16.6	33.5	9.1	27.0	30.3
及 自 由 業	3.5	0	5.1	9.1	0	3.0
無 職	3.5	0	5.1	9.1	0	3.0

ここで専門的職業及び無職は性格と特別な連關はないと解されるがA・C型には給料生活者が多く、D・E型には中小商工業及び自由業が多い。後者は兩親在宅の機會が多いため時間的な束縛が少く従つて勤入家庭の規則的な生活に及ばぬものがあり、職業そのものよりも其に原因した生活状態に問題があるものと思われる。

(二) 父母の年齢

多少の連關がみられる。即ちE型の者の父母は年令差の大きいものが多くA・B・C型には若年が多い。C型に若年、

父母の年齢

父母の年齢			項目
若年	中年	老年	種別
二五・三	五〇・〇	七四	種別
三三・〇	五〇・〇	七四	總員%
三三・〇	五〇・〇	七四	A
三三・〇	五〇・〇	七四	B
三三・〇	五〇・〇	七四	C
三三・〇	五〇・〇	七四	D
三三・〇	五〇・〇	七四	E

中年の父母の多い事はその生活が元氣と自由に恵まれている事に原因しているのではあるまいか。こゝで面白いのはA型父母の教育程度

母の教育程度			父の教育程度			項目
初等	中等	高等	初等	中等	高等	種別
三六・〇	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	種別
三七・五	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	總員%
二八・三	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	A
四・七	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	B
三五・九	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	C
一六・一	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	D
一六・一	三〇・六	四・四	二六	二六	二六	E

とE型に一つの共通點の見られる事である。高年及年齢差の大きい父母の生活は人生の経験豊かで思慮の深い一面の時に消極的で子供を溺愛する傾向を持つものではあるまいか、良き方向をとつた場合がA型として現れ逆の場合はE型を作る可能性が多いものと推察される。

(三) 父及び母の教育程度

A・C型に高等教育程度の父が多く、B、D型には中等教育程度のものがやゝ多い。又、E型の子供の母に初等程度の者が最も多くA、C型の母は比較的専門教育を受けている者が多いことが判る。

(四) 同胞数及出生順位

同胞数		出生順位		項目
一人子	二人以上	長子	末子	種別
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	種別
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	總員%
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	A
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	B
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	C
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	D
三三・〇	八〇・〇	三三・三	三三・五	E

同胞数ではE型に特殊な傾向、即ち特にE型兄に一人子又は多子家庭のものが多く二―五人の者が著しく少い。又C型

には長子、末子が少くA型には長子、末子が多い事は面白いと思う。

(五) 同胞性別、保育者、祖父母同居の有無。

項目	種別	総員%	類別				
			A	B	C	D	E
同胞性別	一人息子	一六・七	一六・六	一七・九	三三・六	二二・一	二五・一
	一人娘	四三・三	八三	一六・三	九・二	一四・五	一六・一
保育者	母	六九・〇	六六・四	六三・三	五九・三	七〇・三	六六・八
	父及母	三三・三	三三・二	三六・四	三〇・〇	二九・七	三三・二
保	祖父	四・二	〇	四・四	八・七	七・三	〇
	祖母	二二・三	四・二	二一・八	四・三	一四・五	三〇・五
同居	母及使用人	九・四	八・三	七・四	〇	七・三	一六・〇
	ナ	三三・八	三七・五	三三・三	三三・九	三三・〇	三三・三
父母	一時有り	三三・七	三七・五	三三・三	三三・九	三三・〇	三三・三
	常に有り	三三・八	三三・〇	三三・六	三三・九	三三・七	三三・六

この三項目にあつては特に著しい傾向が見出し難い。

(六) 教養状態全貌——数種の調査項目を概括して教養状態を良、可、不可の三段階に區別して次表を得た。

他の何れの條件よりも兩者の關係は明白である、教養状態はA、B、C、D、Eの順序に降下している。A型家庭では

項目	種別	総員%	類別				
			A	B	C	D	E
教育概況	良	三三・三	六三・五	八三・三	七三・三	三三・七	〇
	可	四九・九	三三・〇	三〇・八	四〇・九	三三・九	三三・五
教育	不可	一六・八	八三	三〇・九	三三・七	三三・九	三三・六
	可						

良を示すものが六二・五%もみられるに比しE型家庭には〇である。よき教養がよき性格につながる事が整然と知られる。以上で一般家庭的條件についての考察を終り續いて身體的條件と性格類型について考えてみよう。

(七) 出生時概況

A、C、及びBDEにはそれぞれ同様な傾向が見える。D型は最も成績不良である、出生時の状況の悪いことは將來の性格に消極的な傾向をもたらす原因になるのである。こゝでもAは最も良し。

(八) 乳児期の發達

A型の良好な事が明白である。B、C、Dはほぼ同様。Eはやゝ悪し。

(九) 過去及現在の健康

出生時の場合と同じ狀況が見られる。

(十) 習慣(躰け)

次でこの問題に入ろう。習慣の項目は五つに整然統合して考えてみた。その評定は標準程度を良、やゝ劣つたものを可、遲滞の著しいものを不可と假定して集計してみた。その結果は次表の如くである。

出生時概況

項目	種別	總員%	出生時概況					乳兒發達			現康及健		過去	
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	中	下	
A		元・四	元・四	元・六	元・六	元・四	元・二	元・二	元・二	元・五	元・七	元・四	元・四	
B		元・六	元・六	元・九	元・六	元・五	元・五	元・二	元・二	元・三	元・六	元・二	元・二	
C		元・二	元・三	元・三	元・五	元・二	元・七	元・七	元・二	元・九	元・八	元・五	元・五	
D		元・七	元・八	元・八	元・七	元・二	元・四	元・四	元・二	元・七	元・七	元・二	元・二	
E		元・五	元・五	元・九	元・四	元・九	元・四	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	

表によれば離乳期ではA型には一年未滿に完了したものが多い、多く、C、Eがわずかに低い。食事の習慣ではEがやや不良と思われ、着衣、排泄の習慣はB型や悪く、Aはやよい。又睡眠はA、CがややよくDEがやや好ましくない。その他の躰けはA、D、Eが相似しB、Cより良い状態にある。しかし何れの項目にあつても著しい傾向を見出すことは困難な様に思われる。これは習慣、躰けの状態は一面性格の一つの現象とも解され、兩者いづれをその成因とするかは決

乳兒期の發達

項目	種別	總員	乳兒期					離乳		專食		排泄		睡眠		その他	
			一年マデ	一年—二年	二年以後	良	可	不	可	不	可	良	可	不	可	良	可
A		元・六	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二	元・二
B		元・五	元・九	元・九	元・六	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三
C		元・八	元・九	元・七	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三
D		元・三	元・三	元・四	元・七	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三
E		元・二	元・三	元・六	元・八	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三	元・三

定し難い事實であるためではあるまいか。即ち兩者は因果的な關係と言うよりも不可分なつながりを持つもので互に原因となり結果となつて結びつてゐるものではないかと思われ

四

結論、以上調査の結果より推論するに、性格類型と關係の深い環境項目は、家庭的條件の内の(一) 家庭の職業、(二) 父母の年令、(三) 父母の教育、(四) 同胞數、(五) 出生順位等で、祖父母同居の有無、同胞の性別、保育者等には深い關係を見出し難い。而してこれらの何れより最も影響の強いのは「両親の子供に對する教養態度」であつて、(一)(二)(三)(四)(五)の各項目も其自身が直接の影響を及ぼすのではなくかゝる環境によつてかもし出される家庭の雰囲気、生活形態等の内面的なものが深い教育性を持つものでこの具體的な現れが「子供に對する教養態度」であるのではないかと思われ

身體的條件の中では乳兒期の發達と性格との關係に最も高い相關を思わせられる。この事は年長兒のI・Qと性格類型との間にみられた一つの傾向と共に知能と性格の密接な結びつきを想像させるものである。

身體的好條件はその性格を積極的、外向的に方向づけるが身體的に恵まれぬ場合はD型の如き消極的、非自立的な性格を形成しやすいと思われ。しかしその逆は二三頁へつゞく

第二部 (講演)

1、幼兒教育について

總司令部幼兒教育係官 ヤイデ女史

2、箱根について

神奈川県立小田原男子高等學校

教諭 中野敬次郎

文部省初等教育課長、厚生省課長、神奈川県當局の方々、又、軍政部から、神奈川県教育方面御指導の方、總司令部のヤイデ女史等の實に有意義なお話をうかがい、私共の使命の重大さを痛感した。

次に少しヤイデ女史のお話を覚え書きよりひろつてみよう。ヤイデ女史のお話はアメリカの幼兒の一日の生活であつた。アメリカの幼兒の一日の生活であつた。アメリカでは衛生を非常に重んじ、朝、幼稚園に來た子供のとどと耳と手の検査を先生がする習慣が徹底されていて、子供もこれにすつかりなれてゐる様子であり、又、遊びでは、全身を使うように、例えば積木にしても大きい箱積木を使つてゐるやうに伺つた。女史は私達の任務の重要な事を強調され、どこの國でも保育従事者が明るく生き生きとして見えるのがうれしい、更に一段の努力を希う、と激勵して下さつた。

以上の様に會も神奈川県準備委員會の方々の御努力により、無事進行し、將來幼兒の爲に何か意味ある様會員一同力強いものを感じつゝ開會した。閉會後はそれ／＼一日宿泊し、箱根見物等、皆各自のプランの道を進み、楽しいレクリエーションをした。



三歳児保育小感

日出學園幼稚園科

土屋眞砂子

一、三歳児入園許可の参考條件

- 1、入園考査の結果心身共に優秀と認められたもの
- 2、家庭が特に幼稚園教育を理解し協力するもの
- 3、兄弟が在園する又は兄弟が幼稚園を修了しているもの

二、三年保育児の一年保育児に勝れた點

- 1、心身共に質が揃つていて何となく線の太い耐久力を感じる。(團體生活に耐え得る自信の下に入園を志望するので)
- 2、純真無垢そのまゝの發露は常に明るい柔い雰圍氣を作り、その行動は常に微笑をもたらす(年長児に時々見るような、はにかみ、遠慮、飾り氣、意地悪、亂暴等はいさゝかもない)
- 3、惜しげなく心を生のまゝ發揮するので輔導に心安い。お乳の香のするような甘つたるい親しみは保母の自然愛をほしいまゝにする。(年長児には努力愛になつてしま

當園では創立當時の園長の早教育主張によりすつと満三歳児の保育を行つてゐる。戰前定員九十名の頃は餘り困難な問題にも會はなかつたが、戰後一人でも多く收容しなければならぬ社會情勢につれて、二百名も預つてみると、一組四十五人五組六人の保母では、時々困難な問題が起つて、來年こそは三歳組は止めようかと思つたことも屢々あつた。

然し新學期を迎える頃になると、どの先生もが小さい組を受け持ちたいというほどの愛着で、今年も二十名の三歳児と早生れ四歳児十名とのヨチ／＼組を編成してゐる。

一時新教育令では三歳児は止めるという噂を聞いた時、やつぱり私共のたどつて來た足跡は、輿論に於て否定されるのか、無理だつたのかと考えさせられて、少々落膽した。でも間もなく三年保育を認めるの聲を聞いて、大いに力を強うし意氣込みを新にした。

そして三歳児保育を再検討して、理論的にも實際的にも意義深いものにし度いと念じ、こゝに歩いて來た足跡を記録してゐることにした。

うことも時々はあるが)

4、一年保育児にあつては、母親達が保育效果に期待をかけ過ぎ、物を覚えさせるといふようなことにあせる氣味があるが、三年児にありては、幼稚園の理想の夢の生活を子供と共に楽しんでゐる。同じ様に保姆もその發育段階を長い眼で看守り、のび／＼と自然性に立脚した保育が出来る。

5、一年保育児にあつては、團體の自然制裁に堪えられないで、途中で幼稚園を嫌う様な我儘な事件がよく起るが、三年児にはかつてその經驗がない。之は幼稚園生活が無理なく心にふさはしく身につけて行くからである。年長組へ進むにつれて愈々幼稚園を我がものとして楽しむ精一ぱいの生活が展開されるようになる。

6、製作や音楽遊戲等に於ても、初めは殆ど傍觀を楽しんでゐる、それがいつの間に入れてといふ参加性に發展し、遂には自發的に想像創作の力を逞しく發揮するようになる。

三、三歳児の保育上特に考慮した點

1、満四歳以上児に比較して相當その心身の發達に隔りのあることを忘れてはならない。

2、疲勞の打診と適當なる休息に特に留意

3、食事や用便に對する細やかな世話

4、家庭生活に近い靜かな廣い室と設備、

5、所謂率具といつた部類の遊び道具を豊富に、

5、一齊保育を出来る丈避けて、自由遊びを主體とし、製作等も自由遊びの姿の中に發展させる。

7、年長児に特に一人子等に兄弟感情を養ふことには非常に好都合だが、反對に年少児に依頼心を起させないよう

8、年長組へ進むと音楽、製作或は劇遊び等保育材全般に亘つて重復することが多々あるが、その發展的取り扱ひに十二分留意して倦怠感等を起させないように。

四、年長児と一緒に遊ぶ點

組を超越した自然分團を尊ぶ新保育になつてから、この年少児の位置は非常に取り扱ひよく、年長年少共に自然に融和的な保育が出来るようになった。

1、活潑な遊戲機敏を必要とするような遊びには年長と同一歩調がとれない。

2、お話劇遊び等靜かな熱中時にも理解力が幼稚なので、わき見、雑談、ふら／＼歩き等して靜肅を妨げる。

3、近い外出等は大きい組が一人／＼小さい組の責任をもつなどよい機會だが、遠い外出には行動を共にする力がない。

4、兄弟關係の場合によく見るが、兄弟の後ばかり追つて、依頼心強く、離れないと兄弟の自由生活を妨害することがある。年長児と云へど幼児故に始終つきまとはれ

ることは負擔が大きすぎるから。

5、お約束専即ち規律的な生活面に於てはなか／＼年長組と同一にはまいらず、赤ちゃん組として特殊な場合が始終起る。

五、三歳児保育小話

◎櫻組の佐ちゃん、俊ちゃん、和ちゃん達は、日に二三回は必らずやつて来て、私の腰のまはりをお撫でまはして行く。何にも云はないけれどにつこりとほ／＼えむその眼に頬に何かを求めていることを感づく。私はお母さんの暖い觸感がほしいのだなと思つて、「いゝ子」といつてその時々あつさりながら、どんな忙がしい手でもやめてお相手を上げて上げる。如何にも安全感を得たようにまた遊びに歸つていく。

◎神経質で食の細い靜ちゃんは御飯の時よく後残りになる。落葉やどんぐり拾いに裏山へ／＼と遊びのうつる頃だつた。誰もいなくなつたお室の中、新學期泣いてばかりいた同じ組の洋子ちゃんが靜ちゃんに御飯を食べさせていた。二人とも顔をくつつけて燕の子のよ／＼に、口を開けて、その表情の美しさのどかさ、私は自身ケヤーの位置につくことを忘れて三十分間も窓外から覗いていた。その靜ちゃんが年長組になつたこの頃では、櫻組へ行つて盛にお姉様の役目を果している。

◎お集りなどちつとも氣にしない線の太い晃ちゃんは、手

をとられるまで自分の遊びに熱中するので、うつかりすると迷兒になつてしまう。「あつ今日もまた晃ちゃんが見えない」「お食事ですよ／＼」と呼んで歩けば、顔中砂のお化粧をした晃さんは出窓の下の日向ぼつこで、銀砂に腹這つたま／＼心地よさそうに鼻を立て／＼いた。その晃さんが二年目のこの頃はどんな製作にも自分から進んで仲間入りを所望して来るようになった。

◎仇名ピンちゃんは「今日のおかづなーに」「私知つてるから、先生に教えて上げる」「えーとえーと」とおべんとうの報告をするのが朝の御挨拶である。「今日は餘が入つてますよ。そのかはりコツプが入つてませんよ」なぜだかあててというけれどあたらない。お母さまが「お瘦小が続くから今日はこれでもまんなさい」といつたとて得意顔。

◎春の陽盛り田圃にクローバの花を摘む。花の冠を頭に載せて、幾組かの王子王女が練つて行く。歌を歌いつ、語りつ、空腹と汗が可成り迫つて来たけれど、ヨチ／＼組何の不平もない。ふり返つてはにこ／＼笑つている。お母様と一緒だつたら咽がかわいた、何か頂戴、果てはだつこして等きつと駄々をこねるであらうに、團體生活がこんなにも和やかに、子供の心を訓練してゆくのかと、教育的解釋をすれば嬉しい。然し反面先生という冷い位置・誰もだつこして等云つてくれないと思ふといさ／＼かさびしい。こんなことを考えながら歩いた日の御晝食

後、室の窓側にすわりと並んで足を思い切り伸ばした夢の姿を見た。赤いおふとんをお腹の上にチョコントのせて、たとえようもない愛らしさ。暑い夏の日の裸足遊びや水遊びの後の晝寝に一番グツスリ深い眠りに入るのも三歳児組である。

◎自分の意にそわぬことば何でもお母さんが、お友達が先生がと、駄々をこねて泣き度くもないのに大聲はり上げて愚圖る姿を幾度廊下のまん中に見出したことか、英ちゃんの腕白大官ぶりは幼稚園一だった。然しよいところは、どんなに放り出しておいても叱つても餘計ひつついて來ることであつた。提灯鼻をすりつけてぶら下るので、私達のスカートは、なめくじの足跡のように銀線の模様が絶え間なしだった。その英ちゃんやんが二年目のこの頃、メキ／＼と想像性豊かな製作熱をみせて、みんなをグン／＼引つばつてゐる。五月の雨の日だった。一本のぬり多チューリップを中心にザア／＼降りそゞ雨、根元に豆自動車が一臺止つてゐる、晝が黒板に貼られてあつた。クレオンの跡の自由奔放なこと、みとれてゐる背後から「先生ポックリ坊やが、チューリップの花の中で、眠つてるんだからそつとしておいてね」と英ちゃんの手。まことに動中靜ある大きな構想だった。

註◎ぬり多は太平洋のまん中へというお話を先年聞いてから、相當考えさせられたが、子供達がこんなにも好むものをと思つとむざ／＼流し得ないで、それからすつと、

ぬり多をヒントに、自由畫へ、自由貼繪へと、ぬり多の發展的取り扱いを試みている。雨の日等靜かな遊びの誘導の一つとして、私はよく謄寫器を保育室のまん中へ持ち出して、ぬり多やを開業する。

◎ポックリ坊やとは、幻燈のスライドの一つで、ポックリ坊やが豆自動車で冒險旅行中野原で大雨に會い、キノコの傘の下に雨やどりし、更に蟻の誘いを得てチューリップの花にうつり、ついに深い眠りに入つてしまふ一場面、一ヶ月に二回位幻燈を行つてゐる。以上。

(一九頁より) 必ずしも眞とは考えられない。

習慣の項目の中では離乳期と食事の習慣が性格と多少連關性を持つが他の項目には特別な傾向は見出し得なかつた。又睡眠の習慣の良否は身體狀況と關係が深いと思われた。

三大項目の中で最も影響の深いのは家庭的條件であつて之に身體的、習慣等の條件が參與して類型差の環境的原因となるものと解されるのである。換言すればこどもの生得的傾向に對して両親が如何なる態度でのぞみ、こどもの經驗世界として如何なる場を用意してやるかという事が性格形成に最も強い方向づけを與えるものであつて、之は結局両親の教養乃至は兒童觀、人生觀等の両親自身の内に存する問題であると思われる。幼兒にとつての理想的な教育的場は人類すべてにとつての理想的な家庭生活であるとも云うべきであらう。

幼兒の心理的發達 四

東京家政大學教授 山下俊郎

三、三歲兒の心理的發達 (ついで)

(3) 情緒的發達

三歲兒の情緒的發達を見て行くのに、先ずそのはつきりした現われである泣くことを觀察して見よう。三歲兒は、二歲兒ほどではないが、まだよく泣く。困つたり、非常に不快なことがあるとすぐに泣くのである。

このように泣くということには、いつでもそうであるように、そのおくに何かの情緒が動いている。このような情緒の動きの中で、まず觀察しなければならぬのは恐れである。二歲兒のところまで述べたように、恐れは二歲頃からだん／＼現われるようになって来て、幼兒の情緒的發達の中で大事な位置を占めてゐる。三歲兒では、恐れが段々分化して來るのである。全體的に云えば、段々と特殊なものを恐がるようになって來る。この年令の幼兒の恐がるものには、視覺的なもの、つまり眼で見えるものが多い。皮膚の色の違ふ外國人とか、しわの多い老人とか、グロテスクなものや、お面(例えば能面のようなもの)と云つたようなもの、くらやみ、犬や猫その他の動物、それから時としてはおまわりさんとか、或る種の物賣りというようなものが、この年令の幼兒の恐がるものゝ代表的なものである。恐れは幼兒の精神生活全體に亘る非常に深い影響を持つていたので特に氣をつけなければならぬものであるが、それにはこのような恐れは分化がどのようにして行われるものかということを考えて見る必要がある。幼兒の恐れは色々の條件によつてゐる／＼の對象と結びついて行くものであるが、そのうち根本的なものとして、既に二歲兒の所で述べた幼兒の生活が段々範圍を擴げて來るに従つて幼兒の知り得ない、分らないものによつて來ることが多いということが挙げられる。これに對しては、幼兒に出來るだけ自分の環境に對する正しい知識を與えるように力めることが必要になつて來る。それから次には暗示が非常

に大きい。一口に云えばおどかしである。「お化けが出るよ」とか、「〇〇につれてつて貰うから」とかと云つて、おどかして言うことを聞かせようとすする幼児の扱い方が、過去のわたくし達のまわりに何と多かつたことだろう。こう云つておどかすことはそのおどかしの材料に使われているものが悪いよという暗示をかけていることになるのであつて、このような暗示は絶対に避けたいものである。それから次には、幼児に著しい模倣の影響に氣をつけなければならぬ。まわりの者の恐がるものは、必ずと云つていゝ位幼児の恐がるものになる。まわりの者が餘計な恐怖心を示さないように氣をつけることが必要である。恐れ^の分化の起つて來る條件はまだこの外にも二三あるが、最も大事なものは以上の三つである。恐れがまさに分化しようとしているこの年令の幼児の保育に於ては特に氣をつけたいものである。

次に、怒りの情緒にも氣をつけたい。何か氣に入らないことがあると、怒つて、かんしやくを起して、泣いたり、まわりの人をひつかいたり、ひつくり返つたり、足踏みしたりして、いわば自分の身體全體でまわりにぶつつかつて行くといふような表現をすることが、二歳臺の幼児の特徴であつたが、三歳兒になるとそういうことが大分少なくなつて來るのが普通である。この年令になると、二歳兒に比べて多少は自制力が出て來て、まわりの者に對してぶつつかつて行くような攻撃的な行動が段々少なくなつて來る。というのは、怒りの表現をいわゆるひつかいたり、けつたりするといふような

身體的攻撃でするのでなくて、どなつたり、悪口を云つたりするといふような怒りの原因も、二歳臺では、自分の思う通りに動きたいといふ身體的活動を邪魔されて自分の思うように自由に行かないといふ所に原因のある事が多かつたのが、三歳臺になつて來ると、自分の持物をとられたとか自分の考へていた計畫が邪魔されたとかいふようなことに段々移つて來るようになるのが普通である。このような三歳兒に於ける怒りの發達を見ると、自分自身の情緒を統禦するといふことをこの年令の幼児はまさに身につけつゝある段階にいるといふことが出来るであらう。その意味でこの年令の幼児が、どうしてそのようなことを身につけつゝあるかと云うことをわたくし達は考へなければならぬ。このことに就いてわたくし達の考へなければならぬことは、いろ／＼あるが、そのうちの最も根本的な一つの點に就いてだけおれ置きたい。それは、怒りの本質に連關する問題である。いま、見た所で分るやうに、怒りといふ情緒は幼児の自我の欲求に關係する。すなわち、自分がこうしたいと思つているその欲求をじやまするものがあるとき、これに對して起つて來るのが怒りである。そこで、この怒りが、中心のない單なるかんしやくに移つて行かないやうにする爲に、第一には、幼兒が怒つているとき、たと單に泣いたりわめいたりあばれたりする^{こと}が、決して自分の思ふことを通す手段にならないやうに氣をつけなければならぬ。怒つて泣いてるとき、もし幼

兒の欲求が正しいものであれば、自分のやりたいことをやるにはどうしたらやれるようになるかということ、を幼児に教えてやること、がその第一であり、次には、もし幼児のやりたいと思うことが無理であればいくら泣いてもわめいてもさわりでも、徹底的にとり合わないで知らん顔をしているという一貫した方針をとることが必要である。このようにすれば、まさに、自分の情緒の自制をまさに身につけようとしているこの年令の幼児は、圓滿な情緒の發達をたどることが出来るであらう。

さて、このように怒りに見られるその表現の發達的特徴は、原則的には、ほかの情緒にも見られる。即ち、幼児が何か嬉しいことがあつて喜ぶとき、二歳児までは、たゞ身體的な表現でこれを現わすことが多いのであるが、三歳児になると言語的表現が多くなつて来る。喜ぶ場合に、喜びを言葉で現わすようになり始めるのである。言葉のおかしさや、かゞぎやく等も理解して喜ぶようになって来る。

三歳児になると愛情の發達も著しく見られる。子供どうし仲よくし、助け合つたり、同じことを一緒にして喜ぶというような傾向がそろ／＼出て來始める。また、小さいもの、動物や鳥などを可愛がるというようなよろ／＼もそろ／＼見られるようになるが普通である。

この年令の幼児は特に、色々のことが自分で出来るようになったことに大きな喜びを感じ、誇りを持つている。現に運動の發達の所でも見たように、そしてまた後に社會的發達の

項でも述べるように、三歳児になると、急に色々のことが出来るようになって来る。このことは幼児にとつて大きい喜びであり、誇りである。ところがこのことはその反面に大人から何かと手をかけられ、干渉されることをいやがるような傾向になつて現われて來ることがある。この年令の幼児はまだいわゆる反抗期の中にいるので、特にその傾向が強いが、この自我感情は幼児の保育の上には、これをむしろ積極的に利用して、すべての幼児の活動を促進して、この活動によつて幼児がいろ／＼の力をみずから自分の身につけて行くことをたすけて行く媒劑とするようにつとめることが最も望ましいものだと考えられる。

(4) 社會的發達

いま、右に述べたように、三歳児は身のまわりのことに於ては、可なりいろ／＼のことが出来るようになり、生活の自立の第一段の發達をとげる階梯にいる。すなわち、食事のときにははしを使うことが出来るようになり、四歳にならぬうちに充分にひとりりで食事出来るようになる。着物その他のものを身につけることに於ては、ボタンをひとりで掛けたり外したりすることが出来るようになり、靴をはくことも出来るようになつてゐる。またいわゆる清潔の習慣に於ても、手を自分で洗うことが出来るし、うがいなどもしつけさえすれば充分に出来るようになるのである。このようないろ／＼の日常生活の習慣——わたくし達は普通これを基本的習慣と呼

んでいる——に於て幼児が身につけることはいろいろある中でも、最も大切なことは、自分で自分のことをするといふ自立であり、自立の精神である。これはやがて生活の自治といふことにも、自分のことは自分で負うという責任ということにもつながる大事な芽生えである。事實、さきにも見たように幼児たちは、この習慣の自立を身につけることによつて、自信を持ち、自我を主張することをおぼえるようになる。社會生活に於ける基本單位としての個人の確立という意味に於てこのような生活の自立は、社會的發達の中に於て、まことに大切な意味を持つていることをわたくし達は深く考へて見なければならぬと思う。

三歳児は社會生活に於ても一つの新しい出發點にいるといつてよい。即ち、この年令になると、幼児たちは、おともだちと一緒になつてする社會的活動に入りたいという強い欲望を持ち、また實際に入り始める。三歳児に於ては、せい／＼並行的遊びが關の山であつたが、この年令になると、二人乃至三人の子供たちが一つのグループになつて遊ぶことをよくするようになるのが普通である。二歳までは、ほんとの自己中心の世界に居るが、三歳になると、おともだちとものを分け合うことが出来るようになり、また何かを代りばんこにするといふことも分り、また實行することも出来るようになって来る。おともだちの中に、仲よしも出来て来るし、その反面に仲よし以外のおともだちを排斥するといふような傾向も多少は現われるようになって来るのである。そして、遊びを

見ているとこつと遊びが段々と盛になつて来るようすが觀取される。

この年令の幼児に社會生活に對する關心が深まつて來ていふことは、特に先生や外の人に話しかけて見たり、質問したりして、何といふことはなしにたゞ話しているといふことそれだけで満足している傾向が見えることにもうかゞわかるものがある。また、二歳児のような小さい幼児たちだと、主に先生がなかだちになつて他の幼児とのつながりをつけてやるということが多いのであるが、この年令になると幼児たちお互いの接觸というものが先生のなかだちをまつことなしに始まつて來る場合が多いのである。また、さきに、こつと遊びが段々盛になる傾向が見えるといふことを述べたが、この年令の幼児たちは、興味の中心が大部分自分の身のまわりのことに向けられているので、家庭にいと、お掃除やお食事の仕度やお洗濯やちよつとしたものを運ぶといった程度のお使いのような家事のお手傳いが大好きであるが、幼稚園や保育所へ來ても、お食事の仕度でテーブルを拭くことやおやかんを運ぶことなどが大好きで、こつと、こつと先生のお手傳いをするを何よりも喜ぶものである。しかし、そのくせ、もう一方では、自我感情が非常に強く、干渉されることを嫌がり、時としては反抗的になるといふこともまた、三歳児に見られる特徴の大きいものであらう。

このように三歳児の社會生活を一通り見わたして見ると、この年令の幼児はまさに社會生活といふものを(三〇頁へ續く

記 録

第一回九州保育大會記録（抄）

九州保育連合會結成後第一回の九州保育大會は豫定通り三月二十七日から鹿児島市山下町縣立圖書館の三階大講堂で開かれた。

なお三月二十六日（大會の前夜）には九州各縣代表者協議會を國際ホテルで開いた。

大會には全九州各縣から參加三百餘名、さしにも廣い大講堂もギッシリであつた。

第一日 三月二十七日（日）

定刻（午前十時）鹿児島縣保育連合會副會長で師範教授の附屬幼稚園主事山下靜雄氏の開會の辭があり、續いて九州保育連合會長大野柔忍氏と地元（鹿児島縣）の鹿児島縣保育連合會長で（鹿児島縣教育委員長）の平安山長義氏の挨拶があり、次いで祝辭にうつり文部大臣（總務部長代讀）厚生大臣（民生部長代讀）鹿児島縣知事、鹿児島市長、鹿児島教育委員會、全國保育連合會長、全日本保育連盟理事長を終り、福岡縣知事、宮崎縣知事其他各方面の祝電披露があつた。

岡田九連事務局長の經過報告があつて議事に入り、議長に鹿児島市社會課兒童係長古野勝見氏、副議長に事務局長岡田

榮資氏選ばれ、「第四回全國保育大會を九州地區で開催方要望のあつたときは如何にすべきか」等上提、九州保育連合會副會長（熊本縣保育連盟會長）高森豐氏の一昨年、及昨年の大會での空氣の説明あり、其他の議案を議了して記念講演にうつり鹿児島縣立圖書館長「椋鳩十」久保田彦穂氏の鹿児島が生んだ日本産業の恩人故前田正名に關する興趣深い講演があつた。

午後は我が國童話界の元老久留島武彦氏の特別講演に満堂魅了された。

閉式に先立ち參加者全員を代表して大分縣保育會副會長天門成章氏から主催者に對して懇篤な謝辭あり、之に對し九州保育連合會長大野柔忍氏の答辭があつた。古野勝見氏の閉會の辭によつて第一日は意義深く終了した。

同夜國際ホテル大廣間では各縣有志の懇談會が開かれ八十餘名出席盛會であつた。

第二日 三月二十八日（月）

今日から講習會にうつり、午前中は東京女高師及川フミ教官の「新保育の實際と製作」午後は同じく東京女高師附屬幼稚園の吉田トミ先生の「リズム指導」が行われた。

第三日 三月二十九日（火）

第二日と同様で全受講者の熱心さには涙ぐましいものがあつた。

第四日 三月三十日（木）

第二、三兩日と同じ日程の上に、本日午前十時から軍政

部のミス・キック女史の特別講演が行われ一同感銘を深くした。

本日午前中、鹿児島市観光係の好意で縣外参加の有志は櫻島を探勝したが、第二日（三月二十八日）の會後同様鹿児島市城山はじめ市内の名勝を遊覽バスで案内して頂いたことは遠來者の終生忘れ得ない一夢と詩の園「鹿児島島の想出」となったことであらう。

之を要するに、終戦後初の大會であり、全九州各地から保育道に志すものが一堂に會して話し合ひ研究し合つたことだけでも大いに意義があつた、來年の全國大會がもし九州地區での開催となつたら、この大會は受入態勢整備のための大きな階段ともなつたと思う。

なお特筆すべきはこの大會の開催にあたりフレール館、昭和出版・チャイルドブック、廣島圖書等の業者各位が絶大な援助をして頂いたことで大會成功は一にその好意によるものと關係者一同は感謝感激していることを申添へておかねばならない。

鹿児島地區の方々には四月一日まで特別の講習會が續けられた。

第二回關東保育協議大會

若葉の候、神奈川県箱根湯本三味荘に於て第二回大會が開催された。好シーズンのはなはだ混雑したにもかゝらず澤山の參會者があり、三味荘の大集會場も満員の盛

會であつた。休日つきにあたり、遠足、遊山客が多く、登山電車も中止された爲、遠い路を徒歩で來られた熱心な會員もあつた。

第二回關東保育協議大會次第

昭和二十四年四月二十八日

第一部

- 一、開會之辭 抄（準備委員長）
- 一、挨拶
- 一、議長選舉
- 一、經過報告
- 一、祝辭
- 一、協議

協議題

- 1、全國保育強調週間設定について
- 2、保育資材と給食資材の確保について
 - 千葉縣
 - 1、幼児教育者の厚生施設建設の件 埼玉・茨城縣
 - 1、幼稚園教諭・保育所保母不足に對する對策如何
 - 2、保育施設配置分布に關する件 東京都保育連合會
- 一、會計報告
- 一、閉會之辭

（一九頁へつゞく）

そろ／＼身につけ始める、第一の段階に在るといふことが出来る。二歳児ではまだほんとの社會生活は始まつていない。三歳児はようやく社會生活らしいものゝ中に足をふみ入れたところだと考えられる。この意味に於てわたくし達は、學校教育法で幼稚園に入るべき幼児の就園年令が三歳と定められていることに一つの意義をこゝに發見することが出来ると思ふ。

(5) 三歳児の發達的特質

以上三歳児の心理的發達を四つの方面から一通り見わたし

て來た。いろ／＼の意味に於て三歳児は、何でもする子供という言葉の示す通り、めざましい發達をこれからとけて行くといふその第一段階をふみ出した所にいるといふことが出来るだろう。運動的發達、知的發達、情緒的發達、社會的發達の各々に於てすでに見たような發達のあゆみを三歳児はすすめている。學校教育法で幼稚園の就園年令が三歳を定められていることに就いて、單にさきに述べた社會的發達の面のみからでなく、全體の發達から見通して見て、一つの意義があるといふことをわたくし達はこゝに認めること出来ると思ふのである。

日本幼稚園協會 保育講習會

期 日 七月二十一日から同二十五日まで

(午前八時から午後四時まで)
(但し二十五日は正午まで)

會 場 東京女子高等師範學校講堂及び附屬幼稚園

會 員 幼稚園及び保育所關係者 その他

講義及講師

新しい幼稚園

岡山大學教學部長

阪元彦太郎君

保育衛生

恩賜財團
愛育研究所長

齋藤文雄君

幼児の生活發達

東京女子高等
師範學校教授

牛島義友君

リズムと遊戯の實際

東京女子高等
師範學校教授

戸倉ハル君

幼児のリズムと遊戯

東京女子高等
師範學校教官

菊池フジノ君

製作指導と實習

東京女子高等
師範學校教官

及川ふみ君

會費 金參百圓 (當日お持ち下さい)

申込 はがきで、姓名、住所、勤務先の名稱と所在地を明記して、東京都文京區

大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會講習會係宛

(注意) 遊戯實習のための運動服及上靴の用意、製作實習のための用具(ものさし、はさみ、クレ

オン等) 持参のこと

昭和二十四年七月

日本幼稚園協會

會 か ら

○はや六月。保育室も漸く落ちつきを見せて来て、そろ／＼でも児童の服装も、幼稚園全體の空氣も又輕やかで明かす。

○扱て副島氏の「製作の教育的價値」老練な先生も、この稿を精讀することによつて製作の教育的價値を再確認しよう。初心の方々はこの指導書として精讀玩味し、日々製作の指導に誤ちならしめるようでありたい。

○「幼児の文字に對する關心」學齡前幼児の文學に對する關心の程度が、數學的に現わされて興味深い。

○お茶の水女子大學兒童部研究生の和田典子氏の「幼児の性格に及ぼす諸條件に關する一調査」例えばA(望ましい性格理想型)B(平凡型)C(意志型)D(消極型)E(不定型)等の性格が、家庭の職業から父母の年齢から又父母の年齢の相違からはどんな風に現われているかとか父母の教育程度、兄弟の數及びその出生順位とどういふ關係があるかとか、その他これ等性格との關係、等等々保育實際家には誠に興味深い調査である。

○土屋眞砂子氏の「三才兒保育の小惑」細かな「乳のおろすの」點までの御觀察、三

才兒保育の經驗を持つものにとつては共鳴に感ずるところが多い。

○この他山下先生の續稿「幼児の心理的發展」いよ／＼興味深くよまれ、又九州、關東兩保育大會の記事も大方の精讀を希望します。

○次に事務的な御報告。

▲次回發行の七・八號は、合併號とし、日本保育學會第二回大會特輯號と致します。

▼九號よりは頁數を八頁増加して四〇頁と定價を參拾圓と致します。内容充實の爲、止むを得ないこと、御諒承下さい。

▼發行日が毎號おくれ申わけありません。九月號よりは、少くも月の半ばにはお手許に届くよう必ず致しますから、これを御期待下さい。

『幼児の教育』編集

編集主幹 倉橋惣三
協力委員 牛島義友 齋藤文雄 多田鐵雄 山田俊郎

編集部員 西山浪太郎

日本幼稚園協會

幼児の教育 第四六卷 第六號

定價 金二拾圓也
昭和二十四年六月十五日印刷
昭和二十四年六月二十日發行

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

編集兼 倉橋惣三
發行者

東京都千代田區神田神保町二ノ四

印刷者 佐野眞一

東京都千代田區神田神保町三ノ二九

印刷所 明和印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(33)三九七一
番 振替東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文中込その他は凡べて發賣所「フレーベル館」宛に願います

責任をもつておすすめするフレーベル館の保育用品

メンテナンス・クレオン

八色一箱・定価二八圓・送料二二圓
 材料と色を特に吟味して製造したものです。幼稚園用として他に類を見ぬ優秀品。

出席カード

A5判一三枚組・定価二五圓・送料六圓
 當館獨特の企畫による類例のないもの。園児の出席を自づと促進するやうな仕組みの特許済みの製品です。

ぬりぬり魚 巻1 初級 木壽雄 用畫
 ぬりぬり魚 巻2 上澤井一三郎 用畫

自由畫帳
 各A5判一六枚一冊・定価二五圓・送料六圓
 當館獨特の企畫によるメリエです。上質紙使用。

手技用おさく帳
 一冊十二枚・定価二〇圓・送料六圓
 切り抜きや折紙をはりつける御子様のもよるこぼ美しい帖面です。

貼紙
 一〇〇枚一袋上質艶紙使用・定価一五圓・送料六圓
 色々な形を切りぬいた色々な色どりの紙です。貼りつけるの他に子供の最もよるこぼものです。色の種類は八色です。

定評ある 保 育 玩 具

玉落し

定価一五〇圓
 送料三五圓

木球を轉がして的確に當ると球がおちる。おちた球には六面の凹所が六色になってをり今度何色が出るかを言ひあてるので、幼児の高級な精神機能の練習になります

砂型

定価一〇〇圓
 送料三五圓

特に形を數理的見地から研究して完全を期しました。形は種々あります。

大獨樂

定価四〇圓
 送料二〇圓

摘み芯棒をつけた木製の獨樂です。全部削り出しにしていますから至って丈夫であります。材料は特別硬質の木を使ひました。

小獨樂

定価三五圓
 送料二〇圓

特別硬質の木を使ひました。

新案積木

定価一八〇圓
 送料三五圓

大型の積木で組立式になつてをり、汽車、自動車等何でも意のままにつくれます。

發行所

東京都千代田區神田
 神保町二丁目四番地

株式會社

フレーベル館

東京座口聲振
 番一〇四六一九

観 察 繪 本

キンダーブック

KINDER-BOOK

キンダーブックのフレーベル、フレーベルのキンダーブック——この繪本は餘りにも有名です。發刊以來既に通巻 250 號を發行し、全國の各幼稚園保育所をはじめ、健全な家庭から、學齡前の幼兒に無條件に與へられる代表的な繪本として碩々の好評を戴いてをります。先頃連合軍總司令部CIEより發表ありましたものゝ中にも、アメリカにおいても類跡のない獨自のものであるとの御言葉がありました。企畫、編集、用紙、着色、製本凡ゆる面に不斷の精進をつづけ、號は號を追つて益々良いものを世に送りたいと努力してをります。次代の日本を背負う愛兒のためのこよなき心の糧であります。

B5判・16頁・月1回發行・定價 30 圓・送料 3 圓

○お待たせいたしました

久しく大變お待たせしてをりました「保育日誌」と「きりぬき繪本」この程出来上りました。どうぞ御用命下さい
つけやすく、要領を得て、無駄のない

自由式 保育日誌

B5二百頁・用紙六〇听・定價一八〇圓〒二〇圓

これは特に東京都保育連合會が今回新たに御決定なつたもので、従来の保育日誌の型を破つた最新式のもので、用紙と製本には特に意を用いて、絶對インクのものに、長期使用に堪えるものとしてあります。
きりぬき繪本 定價四十五圓 送料六圓
(五〇部までは五五圓)

計 算 投 器

モザイクゲーム (板)

組 ハンドカスター

ベ

○近日發賣

瀧田要吉案並裝幀

自然物のおもちや

四季の自然物を材料にしてその特徴を生かした玩具をつくり方指導書。子供達におのづから観察と創造の喜びを養う新企畫の工作。又各地の童謡に近いかついで入るの操程を懇切に説明し、それ各地として、藝術的香気の高い本で教育に資した、それ各地として、藝術的香気の高い本

B6二〇三頁上製 接價一〇〇圓

發行所

東京都千代田区神田
神保町二丁目四番地

株式會社

フレーベル館

振替口座東京
一九六四〇番